



12月10日、一般社団法人日本損害保険協会より鳥羽市消防団菅島分団に小型動力ポンプ付軽消防自動車1台が寄贈され、配備先である菅島町にて入魂式が行われました。今回で12回目の寄贈となり、寄贈された軽消防自動車は、島の狭い路地にも進入しやすく、火災予防の啓発や消火活動など、島民の安全・安心のために活用されます。



### 軽消防自動車を寄贈していただきました



11月30日、海の博物館にて鳥羽小学校の5年生が、総合的な学習「鳥羽っ子学習」の一環として、減少しているアマモ場再生への取り組みを行いました。

博物館の平賀館長からアマモについての説明を受けた児童らは、海水を入れたペットボトルにアマモの種を植え付け、学校へ持ち帰りました。

参加した児童は「アマモの種を入れる作業は楽しかった」「これからアマモ場が増えるとうれしい」と話してくれました。育てたアマモの種苗は、3月末ごろに今浦の砂浜に植えられる予定です。また、昨年の「鳥羽っ子学習」の発表作品が、3月31日まで海の博物館にて掲示されています。

### 鳥羽小学校児童が藻場再生！



地域おこし協力隊の離島担当をしている横尾さんが、活動の一環として防災時に役立つアイテムを作成しました。それは『海水を真水にろ過する装置』です。特殊な膜を使ってさまざまなものを除去できるろ過装置で、被災時に海水からトイレ用などの水を補給するために使います。装置の多くが島内で使わなくなった家電パーツなどを活用して作られています。「身近な物」も少しの知恵で非常時に「役立つ物」へと変身させることができますが、それには日常的な防災への関心が根本的に欠かせません。



### 地域おこし協力隊と「ろ過装置」をつくりました



11月22日、鳥羽商船高等専門学校の学生チームが、第32回全国高等専門学校プログラミングコンテストの課題部門で最優秀賞・優秀賞を受賞したことを受け、受賞報告に市長室を訪れました。同コンテストは高専生のプログラミング技術の向上を目的に開催され、同校で最優秀賞・優秀賞のダブル受賞は今回が初めてです。

### プログラミングコンテストでワンシューフィニッシュ達成！